

# グローバル化(グローバル人材の育成推進)ロードマップ(平成27~31年度)

## 1.現状と目標

・H25年度から学生派遣・受入れを開始したが  
 ・留学制度、学内の国際化など多数の未着手事業  
 →**本学の国際交流事業には、課題が山積**

国際交流事業推進委員会において、「国際交流ポリシー」に則り「グローバル人材育成プログラムの検討」開始＝未着手事業の解決案提示及び今後の方向性策定

到達目標

**グローバル人材の育成**

上記を実現するためのフロー

## 2.フロー

### ①本学の現状 (H26年度まで)

・釜慶大学校への学生派遣  
 ・マハサラカム大学への学生派遣及び受入れ  
 ・梅野木庭園老人ホーム及びCSUBへの学生派遣  
 など  
 ⇒**準備期(プレ事業)は、事業を達成**

### ②第二準備期(準備期から実行期への移行期間)＝第二次中期計画期間

#### 継続実施事業

・釜慶大学校での異文化体験事業  
 ・マハサラカム大学への派遣及び受入れ事業  
 ・梅野木庭園老人ホーム及びCSUBへの学生派遣

#### 新規事業

・**国際交流プログラムの新規創出**  
 (G人材育成用教養科目・専門科目・チームワーク科目の設定)  
 (オンライン語学教育の実施、能力別クラス設定、到達目標の設定)  
 ・**学内の国際化**  
 (国際交流課の設置、学生の経済的支援、FD,SDの推進)  
 (海外大学視察、外国語教育のためのFD,キャリアプランの導入)  
 ・**外国大学との教育交流事業**  
 (短～長期プログラムの検討実施、受入授業のパッケージ化、単位化)  
 (地域社会への協力依頼(環境整備、行事への参加))  
 ・**外国大学との学術交流事業**  
 (共同研究、シンポジウム開催)

### ③実行期

【学生】提携大学等との交換留学、正規課程としての海外実習、学部横断的な授業など、学生の「内向き志向」克服、積極的に挑戦・活躍できる人材育成プログラムの実施

【教員】提携大学との教員派遣・受入れなど、教育・研究の質の向上。

【職員】複数言語の習得、契約交渉等実施のための『職員力』の向上

【大学行政】海外の大学事情や国際教育交流等における最新の動向についての知識を習得できる教職員の海外研修プログラムの策定

→**充実期(到達目標)へ**

## 3.グローバル人材育成推進事業

### 高等教育政策の方向性

#### 1. グローバルな通用性を涵養し意識を向上させる取組

グローバル企業や海外企業におけるインターンシップ等を含む実践型グローバル人材育成プログラムの開発

#### 2. 教員のグローバル教育力の向上の取組

海外協定大学での授業実施等の実践型研修の実施

#### 3. 日本人学生の留学を促進するための環境整備

留学が効果的なものとなるよう、学生の履修内容を踏まえた留学に関する情報提供や、留学後の単位認定、成績評価等に関する指導・助言、産業界との連携による留学中・帰国後の就職支援

#### 4. 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

外国語力・留学経験等の適切な評価を伴う入試の導入、アカデミック・ライティングの徹底 など

**補助金配分の強化(私立大学等改革総合支援事業、グローバル人材育成推進事業)**